



# 多様性を地域の力に!

北海道議会議員 民主・道民連合

## ふちがみ綾子

道政通信 Vol.26

2025年冬号

ふちがみ綾子道政事務所



### ♡ はじめに

#### ～ 排外主義やデマと向き合う～

近年、外国人を過度にバッシングする声がネット上でも現実でも強まっています。外国人であっても日本の法令やルール、マナーを守ることは当然で、違法開発の取り締まりやゴミ捨てマナーの徹底などはしっかり取り組む必要があります。一方で、一部の行為を理由に穏やかに暮らしている人までも含め全体を攻撃する風潮がエスカレートしています。ネット上では不安や怒りを煽ることで表示回数が伸び、投稿者に収益が生まれる構造が過激化を促しています。中には明らかなデマも多く含まれ、偏見を增幅させる温床となっています。愛国心が掲げられる一方で、沖縄で繰り返される性的暴行や、北方領土問題などには無関心です。特定の弱い立場の相手に向けられる制裁は正義とは程遠く、ヒトにとって一種の『快楽』として働きます。快楽に呑まれれば依存症と同様に抜け出すことが困難です。みんなの周りで呑まれている人はいませんか？また、しばしば制裁対象が間違っており、外国人を叩いても、物価高騰対策や所得の向上にはつながりません。むしろ、北海道の基幹産業である農業・水産業、私たちの暮らしを支える物流、建設、介護など、多くの分野ではすでに外国人労働者なしには成り立ちません。

いま求められるのは、感情や印象ではなく、正しい情報に基づく冷静な議論です。表現の自由は基本的人権や公共の福祉を侵してまで認められるものではありませんし、誹謗中傷は処罰の対象となる場合があります。

特定の属性の人へのバッシングやデマは、災害時など人々の間に不安や不満、わだかまりが募ると顕著になります。現状、長期的な経済停滞、実質賃金の低下、社会保障負担の増大、将来への不安など、デマを誘発する構造的問題が積み上がっており、根本的な問題を解決しなければ状況は変わりません。道が掲げる『一人ひとりが豊かに暮らし続けることができる』ようになれば、人々はこぶしを下ろし、もっと寛容になることができるのではないでしょうか。



## ♡ 一般質問

第4回定例会で行った一般質問の項目は次の通りです。

- 道民からの意見聴取について
- 物価高騰対策について
- 信託法を活用した事前の相続対策について
- 地域づくり総合交付金について
- 福祉灯油について
- 地方創生について
- ガソリンの暫定税率等の廃止について
- 人口当たりの犯罪件数の推移について
- 多文化共生について
- デマ情報の防止について
- 入札等について
- 住民基本台帳事務における支援措置
- 申出書に係る確認書について
- 地域医療について
- 弱者男性について
- エネルギー政策について
- ヒグマ対策について
- いじめ対策について
- 性加害の防止について
- 交番の建て替えについて
- 障がい者の投票に関する合理的配慮について

### 主なものについて

#### 信託法を活用した事前の相続対策について

頼れる家族等がおらず自分が亡くなった後の整理に不安を抱える方も多いと思います。一方で北海道を愛する方の中には残った財産を寄付したいという希望を持つ方もいます。自治体への遺贈寄付についてはすでに先行して取り組んでいる自治体もありますが、死後の整理の不安は解消されません。そこで、信託法を活用した方法を提案しました。



#### 交番の建て替えについて

交番の老朽化などに伴う建て替えが進められていますが、物価高騰を背景に札苗交番では入札不成立により開所が度々延期され「交番いつできるの？」といった声が多数寄せられました。そこで、住民にわかるように看板や貼り紙などで随時情報提供するよう求めたところ、必要な情報をタイムリーに地域住民に発信するとの答弁でした。

#### 障がい者の投票に関する合理的配慮について

障がい者が投票する際に投票所の人から適切な支援を受けることができる『選挙支援カード』、知的・発達障がいの方にも伝わる『わかりやすい選挙広報誌』、障がい者を対象とした『模擬投票』の支援について取り上げました。わかりやすい選挙広報誌は民間団体がとりまとめていますが、候補者と連絡がとれず掲載できないという課題がありました。そこで、候補者説明会にて候補者に連絡先の情報提供をお願いすることを求めたものです。説明会を活用して候補者への協力依頼について検討するとの前向きな答弁でした。

【広報1頁のイメージ】		【以下の質問にわかりやすく答えてください】	
【名前】	XXXX	【西側】	○○北
【西側】	○○東	【北側】	○○東
1. 私たち知的・発達障がい者が地域で暮らしていく中で何に困っていると思いますか？		立候補予定者の皆さんへの質問 ※以下の質問に對して、お答えになる政策をわかりやすく「現政要綱」に沿って、下半面内に回答してください。	
2. その問題を解決するためどんなことをしますか？		※漢字が読みない方もので、漢字にはルビを書いてください。	
3. ひとことメッセージ		1. 私たち知的・発達障がい者が地域で暮らしていく中で何に困っていると思いますか？	
		2. その問題を解決するためどんなことをしますか？	
		3. ひとことメッセージ	

# ♡ 活動アルバム



**北海道カラーユニバーサル  
デザイン機構**  
『色覚の多様性が分かる3  
日間』に参加



**札幌刑務所**  
第38回北海道矯正展に参加



**鉄東一六フリーマーケット**  
町内会主催の地域行事にて  
野菜販売のお手伝い



**ユニバーサルFes**  
地下歩行空間で開催された  
つながるさっぽろ条例関連イ  
ベントに参加



**地域のハロウィンイベント**  
前職時代の技術を活かした本気の仮装で参加



**STV ラジオ**  
LGBTについて明るく楽しく真剣に考  
える番組『Knock on the Rainbow』の収録



**北海道女性議員協議会**  
超党派の女性議員の研修会に参加



**ひがしく健康・スポーツまつり 2025**  
各種健康測定に参加  
写真は咬合力の測定



**ふくしまルシェ**  
障がい者によるファッショショニ  
ーにも  
出演



**ひぐちばんきんらぼ**  
会派内地地球温暖化対策推進プロジェクト  
チームによる独立型太陽光発電の視察



**もちもち亭**  
地域の児童館で毎年開催されている  
もちつきの行事のお手伝い



**北方領土返還要求中央アピール行動**  
北方領土対策特別委員会副委員長と  
して参加

## ♡ 街頭活動・交通安全運動

平日毎朝 8~9 時に区内 2 か所において、日頃の活動や議会での取り組みなどについてお話ししています。また、毎週日曜日に路上にて交通安全の啓発活動を行っています。併せてごみ拾いや、冬季には歩道の除雪や滑り止め材撒きを行っています。見かけたらどうぞお気軽にお声がけください。



## ♡ 講演依頼

LGBTQ に関することをはじめジェンダー平等、人権などのテーマを中心に、各団体や学校、事業所などでの講演やトークセッションなどを行っています。また、高校や大学での研究発表のための問い合わせやインタビュー等も多数お寄せいただいている。多様な人が認められ、活躍できる社会を目指す上で、わたしの生き立ちに関する話や議会でのこれまでの取り組みなどについて多くの方に知っていただくことは重要な活動と考えていますので遠慮なくお問い合わせいただければと思います。オンラインでの講演も受け付けています。



### ふちがみ綾子プロフィール

1975 年佐賀県生まれ。1997 年富山大学卒業。1999 年北海道大学大学院修了。北海道大学低温科学研究所勤務。2000 年農林水産省北海道農業試験場勤務。2001 年ニューハーフショークラブららつー勤務。2019 年北海道議会議員に初当選。現在 2 期目。  
所属会派: 民主・道民連合  
所属委員会: 建設委員会・北方領土対策特別委員会

### 道政通信電子版をご希望の方へ



紙媒体から  
データでの受け  
取りに変更を希  
望される方につ  
いては、公式  
LINE からお送り  
させていただきます。上記 QR コード  
よりご依頼ください。

## ♡ ふちがみ綾子事務所



〒065-0011  
札幌市東区北 11 条東 8 丁目 1-3 高岡ビル 1 階  
TEL: 011-733-6007  
ふちがみ綾子公式ウェブサイト  
<http://fuchigamiyako.jp/>

